

Global Evolution



第47期事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



代表取締役社長

稲吉史泰

手頃な価格でおいしい食事を提供し、
快適な食生活を楽しんでもらいたい。
日本の味覚を、いつでも、気軽に楽し
めるようにしたい――。

創業以来30余年、変わることなく抱き
続けて参りました。

「株式会社ジー・テイスト」は、食のバ
イオニア企業として、21世紀の豊かな
食文化の創造に貢献して参ります。

当期の概況について

当期におけるわが国経済は、輸出や企業業績の好調さから設備投資も増加し、民間需要に支えられて景気回復の足取りに力強さを感じられるようになって参りました。そして、企業部門の好調さが徐々に家計部門にも波及し始めており、雇用や個人消費も改善傾向を示しております。

外食産業におきましては、消費者心理の改善とともに、外食を利用する機会が増えてきており、分野別に相違があるものの全体としてみれば市場の好転がうかがわれます。

このような状況下、当社は3期続いた赤字経営に歯止めをかけるため、資本の充実を図りつつ、業態を多角化する等の新しい経営戦略を決定し、実行に移しました。

第一に7月に株式会社ジー・コミュニケーションの資本参加を受け、同社のグループ企業として互いの持つ力の相乗効果を発揮できる体制を構築いたしました。また8月には、郊外型居酒屋「とりあえず吾平」の営業を譲り受け、新たに居酒屋部門に進出し、当社は回転寿司と居酒屋の2大部門を擁する複合経営に移行いたしました。新部門は収益性が高く、当期の業績向上に大いに寄与したところであります。そして、両部門の人的交流や店舗展開の多様性も効果を発揮しておりますが、さらに当社にとりましては、東日本に限定されていた店舗がグループ全体のルートを通じて全国展開の道が開かれることとなりました。

第二に従来の回転寿司部門については一部地域を除き、複数価格化を進め、本物のお寿司の提供を目指しつつ、タイムリーに目玉商品を投入し、間断ない来客の確保に努めました。この結果、店舗数減少の中で、前年を上回る売上高を確保し、寿司部門の経常利益の黒字化を達成できました。

第三に従業員の給与体系への成果主義の導入と管理部門のスリム化であります。賃金は月例給与に重点を置き、成果にすばやく対応できるように改めました。また、本社機能を1カ所に移転・集中し、事務の効率化と経費の削減を図ることいたしました。

新規出店は居酒屋の譲り受けを含め23店舗、業態転換は2店、閉鎖は不採算店舗4店となっております。

以上の結果、当期の業績につきましては、売上高121億20百万円（前期比17.1%増）となりました。増加の主因は居酒屋「とりあえず吾平」の営業譲り受けによるものであります。経常利益は5億17百万円（前期は2億68百万円の損失）、純利益は1億19百万円（前期は6億67百万円の損失）となりました。

次期の見通し

先行きにつきましては、民間需要に支えられて景気回復が続くと見込まれますことから、個人消費も堅調に推移し、外食産業も全体としてみれば成長していくと思われれます。しかし、業界の中においては部門間の浮沈、部門内では、美味しさとサービス力の優劣による淘汰が繰り返されていくことは確実であります。

こうした中で当社は、18年3月期に大きな変革と多角化によって業績を飛躍的に改善させた勢いを持続させていかねばなりません。

課題の第一は、2部門となった既存事業の強化であります。18年3月期は、居酒屋部門の買収もあって、回転寿司の出店が減少いたしました。今年も双方とも積極的に出店したいと存じます。

また、規模の拡大だけでなく、中身の充実を図らねばなりません。従業員の意識高揚を図り、進んでお客様の満足が得られるように考える風土を構築することが急務です。さらに新鮮さと美味しさを確保するための商品の充実を図って参ります。

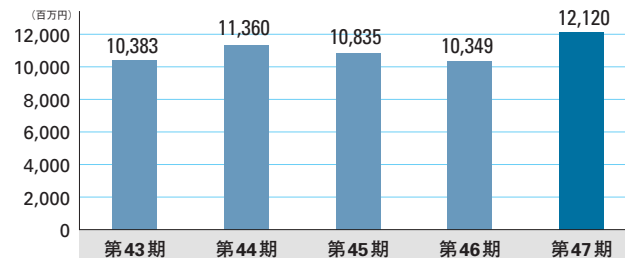
課題の第二は、事業の複合化の推進であります。居酒屋部門への進出は、業績の急回復に絶大な効果がありました。一方で複合化は、部門間の好不況の影響を緩和する効果もありますので、採算性等を慎重に見極めながら進めて参りたいと存じます。

課題の第三は、内部管理体制の強化であります。本社機能の一本化を4月に完了いたしました。事業拡大に合わせて間接部門も整備・強化し、全体としてのコストを圧縮し、収益体質の改善を図って参ります。

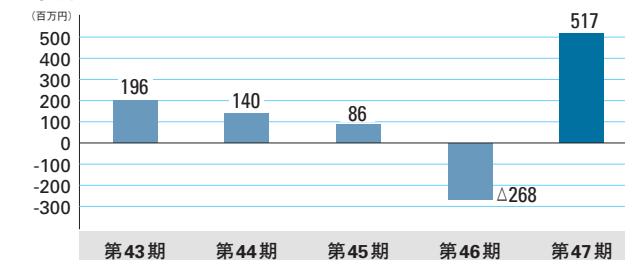
回転寿司部門は新規出店を積極的に行い、売上高は2.7%の増加が見込まれております。

居酒屋部門の売上は1年間全体が寄与しますので、58.1%の増加となり、利益においても大幅な増加が見込まれております。

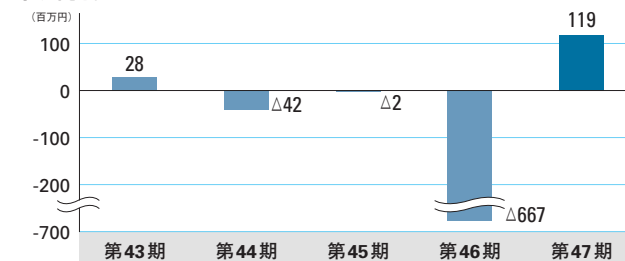
売上高



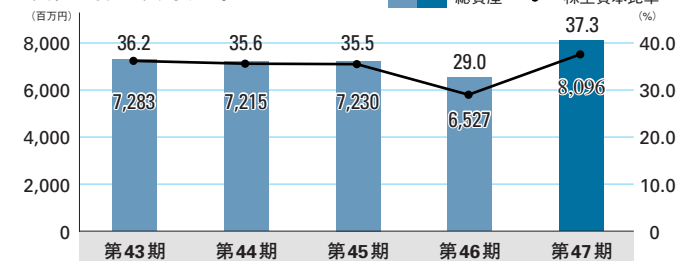
経常利益



当期純利益



総資産・株主資本比率



当社の事業についてご紹介します

—— 当社は回転寿司や居酒屋の事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との共存共栄の実現を目指します。 ——



「おいしいお寿司を手頃な価格で楽しんでいただきたい」をモットーに、回転寿司のパイオニアとして35年余。旬の素材を活かし、一皿一皿心をこめて握っております。

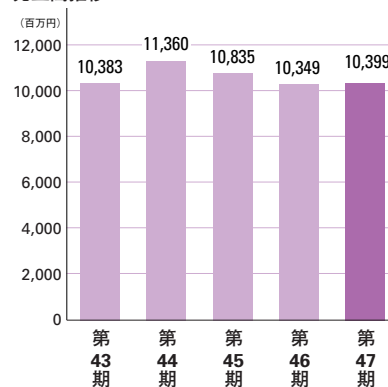
定番メニューのほか季節限定品やオリジナルメニュー、店長おすすめ、アラカルトなど、四季を通じてバラエティ豊かな味がお楽しみいただけます。また、お持ち帰りメニューも豊富にご用意しております。

昨年7月に株式会社ジー・コミュニケーションと資本業務提携を交わし、同社のグループとなったことで、東日本中心だった平禄ブランドを、今後は全国へ展開して参ります。

当期の概況

寿司部門

売上高推移





「とりあえず吾平」は、郊外を中心に展開する、20代から30代のヤング、ミドル層をメインターゲットとした郊外型ダイニングレストランです。

100品前後のバラエティ豊かなフード、100種以上のドリンクが揃う充実のメニュー構成と良心的な価格設定で、くつろぎの空間の中で安心してお楽しみいただけます。

当社の多角化戦略の一環として、昨年8月に株式会社ゼクーより営業権を譲り受け、新たに居酒屋部門としてスタートしました。当社の新たな主力事業として、今後大きな成長が期待されます。

当期の概況

居酒屋部門

売上高実績

(単位百万円)

直営店売上	1,210
FC店向売上等	509
計	1,720

(株)ジー・コミュニケーションと 資本業務提携契約を締結。

株式会社ジー・コミュニケーションがマルチフランチャイザーとして培った魅力ある店舗の構築やローコストでの運営ノウハウを当社に提供いただくことで、当社事業の拡大及び業績の向上が期待できるものと判断しました。

また、不採算店の業態転換や当社エリア以外での当社ブランドの展開等、シナジー効果が発揮できる株式会社ジー・コミュニケーションによる当社株式の保有は、当社の経営基盤強化につながるものと評価しております。



株式分割を実施いたしました。

投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるため、株式の分割を実施。平成17年9月30日(金)最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を、平成17年11月18日付をもって1株につき2株に分割いたしました。

1株 ▶ 2株

「とりあえず吾平」営業の譲り受け。

株式会社ゼクーの営む郊外型居酒屋「とりあえず吾平」にかかわる直営店運営事業及びフランチャイズチェーン本部運営事業を、平成17年8月19日付にて譲り受けました。

この度の「とりあえず吾平事業」は当社にとって理想的な業態であり、当社の成長サイクルを短縮できる好機と考え同事業の譲り受けを希望した次第です。

また、同事業の今後の運営及びFC事業につきましては、飲食店のFC展開及び事業再生に実績があり、当社との資本・業務提携先である株式会社ジー・コミュニケーションから人的協力とノウハウの提供を受け、本事業を万全の体制で推進進めて参ります。



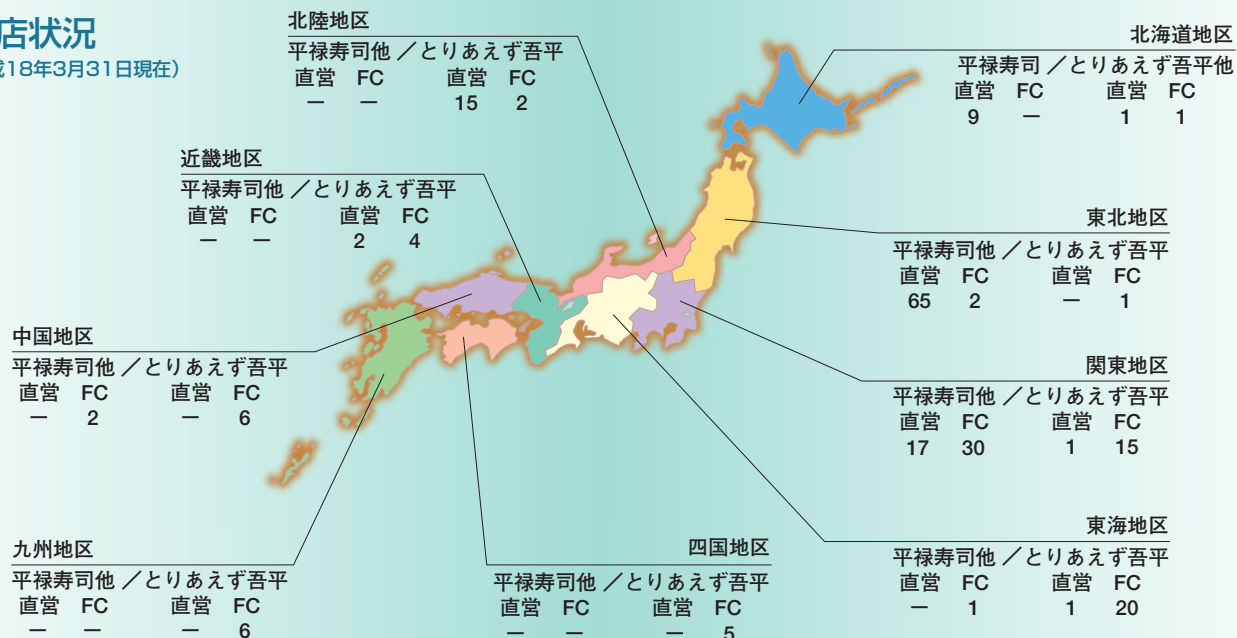
本社を移転いたしました。

平成18年4月に、管理本部と商品本部とを1カ所に移転・集中し、本社機能を一本化。さらなる事務の効率化とコストの削減を進めて参ります。



出店状況

(平成18年3月31日現在)



仙台下駄や 東京ビルTOKIA店

東京駅西口より徒歩3分。

丸の内の新しい食のスポットとして

東京ビルの地下1階フードコートの一隅にOPEN。

この東京ビルTOKIAのフードコートには、外食店舗が27店ある中で「寿司」の業態は「仙台下駄や」だけということもあり、常に鮮度感を重視し、来店されるお客様に感動を与えられるようにがんばりたいと思います。東京にお出かけの際には是非お立ち寄りください。



東京ビル TOKIA店

決算の状況をお知らせします

①現金及び預金が1,408千円増加したことにより、流動比率が大幅に上昇しました。

②平成17年7月に第三者割当増資を行った結果、資本金、資本剰余金がそれぞれ505百万円増加し、自己資本比率が8.3ポイント向上しました。

■ 貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	当 期	前 期
	(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,350,157	815,759
固定資産	5,746,760	5,712,078
資産合計	8,096,917	6,527,838
負債の部		
流動負債	2,350,877	2,621,234
固定負債	2,723,016	2,016,236
負債合計	5,073,894	4,637,470
資本の部		
資本金	897,128	391,810
資本剰余金	960,426	455,108
利益剰余金	1,162,249	1,042,613
株式等評価差額金	5,418	2,629
自己株式	△ 2,199	△ 1,794
資本合計	3,023,022	1,890,367
負債及び資本合計	8,096,917	6,527,838

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当 期	前 期
	(平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	(平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,752,230	43,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,085,012	△ 317,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	741,678	△ 55,549
現金及び現金同等物の増加額（△ 減少額）	1,408,895	△ 329,079
現金及び現金同等物の期首残高	538,475	867,554
現金及び現金同等物の期末残高	1,947,370	538,475

■ 損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当 期	前 期
	（平成17年4月1日～ 平成18年3月31日）	（平成16年4月1日～ 平成17年3月31日）
売上高	12,120,649	10,349,721
売上原価	4,985,206	4,334,590
売上総利益	7,225,442	6,015,131
販売費及び一般管理費	6,773,768	6,315,023
営業損益	451,673	299,891
営業外収益	290,393	156,484
営業外費用	224,189	125,277
経常損益	517,877	△ 268,683
特別利益	13,659	7,457
特別損失	379,010	284,575
税引前当期純利益（損失）	152,527	△ 545,802
法人税、住民税及び事業税	32,891	13,523
法人税等調整額	—	108,324
当期純利益（損失）	119,635	△ 667,649
前期繰越利益	104,528	172,178
当期末処分利益（損失）	224,164	△ 495,471

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

①回転寿司部門は前年を上回る売上高を確保した結果、部門での経常利益の黒字化を達成しました。

②平成17年8月に当社は新たに居酒屋部門として「とりあえず吾平」の営業を譲り受けました。この部門は収益性が高く当期の業績向上に大いに寄与したところであります。

③経常利益の改善幅は786百万円にのびますが、特別損失として減損損失284百万円等を計上した結果、当期純利益は119百万円にとどまりました。

■ 利益処分

（単位：円）

科 目	当 期	前 期
当期末処分利益（△損失）	224,164,535	△ 495,471,268
別途積立金取崩額	—	600,000,000
配当金（1株につき2円50銭）	31,018,000	—
次期繰越利益	193,146,535	104,528,732

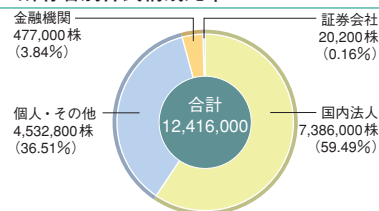
株式の状況／会社情報

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

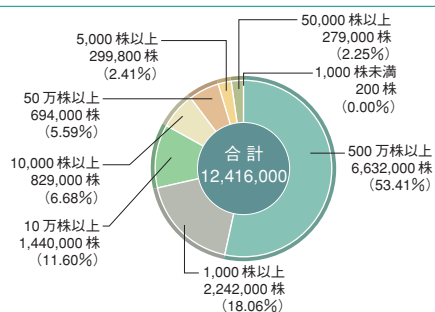
会社が発行する株式の総数 20,000,000 株
 発行済株式の総数 12,416,000 株
 株主数 1,422 名
 大株主

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
株式会社ジー・コミュニケーション	6,632,000	53.41
江川進興	694,000	5.59
ジー・テイスト取引先持株会	440,000	3.54
江川春延	224,000	1.80
有限会社オレンジライフ	174,000	1.40
遠山仁域	160,000	1.29
陳建清	118,000	0.95
東建金次	110,000	0.89
株式会社七十七銀行	108,000	0.87
極洋商事株式会社	106,000	0.85

所有者別株式構成比率



所有数別株式構成比率



会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号 株式会社ジー・テイスト
 会社設立日 昭和34年11月25日
 資本金 897,128千円
 事業内容 1. 回転寿司店の経営
 2. 居酒屋店の経営
 3. 関連商品の販売

役員 (平成18年6月29日現在)

代表取締役会長	江川進興
代表取締役社長	稲吉史泰
取締役	川上一郎
取締役	小齋幸吉
取締役	扇正信篤
取締役	太田雄一
取締役	伊藤正樹
取締役	稲吉正樹
監査役	星晴夫
監査役	鈴木丞廣
監査役	後藤時廣



株主優待制度のご案内

年間2回、当社の株主様に対し、お食事ご優待券を贈呈いたします。

当社が経営する全店及びフランチャイズ加盟店全店ならびに株式会社ジー・コミュニケーションのグループ各社が経営する全飲食店ご利用いただけます。

～贈呈基準～（1回あたり）

- ・1,000株の株主様 —— 10,000円相当のお食事ご優待券
- ・2,000株以上の株主様 —— 20,000円相当のお食事ご優待券

株主メモ

- * 事業年度 4月1日～3月31日
- * 定時株主総会 毎年6月
- * 基準日 3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告いたします。
- * 配当金の基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- * 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行(株)
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部
- 〔郵便物送付先〕 〒137-8081
〔電話お問合せ先〕 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部
Tel 0120-232-711 (通話料無料)
- * 同取次所 三菱UFJ信託銀行(株) 全国各支店
- * 公告方法 下記当社ホームページに掲載いたしま
す。
<http://www.g-taste.co.jp>

株式会社ジー・テイスト

〒984-0042

仙台市若林区大和町5-33-8

TEL : (022) 237-5566 FAX : (022) 237-5570

ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste